

【本校の教育目標】 賢く、優しく、たくましく、地域と共に未来を創造する生徒の育成

由布市立庄内中学校 学校通信

かきはる

第4号 2022/7/20 発行
文責 校長 東 克彦



全校朝会での話 7月7日(木)

7月7日の七夕の日に行われた放送朝会でお話した内容をまとめてみました。

もうかなり前の話ですが、こども電話相談室というラジオ番組があって、小学生の女の子が「流れ星にお願いのことを三回唱えるとその願いが叶うって、本当なんですか？」という質問をしました。その質問に宇宙の専門の先生が次のように答えたのです。

流れ星は、お願い事を言う前にほとんど消えちゃうんだよね。実際にそれをストップウォッチで測った人がいてね、そしたら0.2秒から0.3秒で消えちゃうんだよね。

でもね、願いは叶うと思うんですよ、それは単なる言い伝えじゃないと思うんです。

流れ星が流れるのはとっても短い時間ですね。その間に三回もお願いことを言えるのはあなたがいつもその夢を叶えたいと願っている証拠なんです。あなたが一生懸命努力しているということですね。

流れ星が流れるときとつさに願いを唱えられる人は、その思いの強さで実行力や行動の動機付けが強く、願いを叶えるわずかなチャンスも逃しにくいのでしょう。

さて、みなさんはどんな願い事を持っていますか？どれだけ強く願っていますか？七夕を機会に、ぜひそういったことを考えてみてください。



2年生「びじゅつかんの旅」 7月4日(月)

昨年度、コロナ禍のため延期にしていたOPAMへの「びじゅつかんの旅」が実施されました。

OPAMでは「国立国際美術館コレクション展」「収蔵コレクション展(11日に終了)」が開催されており、班別に見学しました。それぞれの班にはOPAMの学芸員さんが付いて、案内や解説をしていただきました。

前衛的な難しい作品も多いようでしたが、非常に良いマナーで、一人ひとりが好きな作品を見つけることができました。



OPAMの前で、学年初の集合記念写真

いよいよ夏休み。健康で安全な夏休みを！

1学期の中学校生活はどうだったでしょうか？始業式や入学式の時の抱負や目標は達成できたでしょうか？また、目標や願いを持ち続けていますか？

約1か月間の夏休みが始まります。自分の時間をうまく使いながら、これから先のことに思いを巡らせて欲しいと思います。2学期の学習や部活のこと、将来のこと…3年生は、1回目の三者面談も終わり卒業後の進路について具体的に考える時期になりました。流れ星にお願いできるほど夢と希望を強く持って頑張れるとよいですね。

県総体や吹奏楽コンクールに出場する生徒のみなさんには、健闘・活躍を期待しているところです。現在コロナ禍が第7波となり、県下にはすでに出場できなくなった生徒が多くいると聞いています。感染防止をさらに意識して、当日は思い残すことのない大会にして欲しいと思います。

私自身(校長)は、中2の夏休みに自転車で大けがをして、夏休みの半分を思い通りに過ごせなかった経験があります。健康や安全を第一に考えて、有意義な夏休みにしてください。